



ふくしの森 ステーションあがの だより

あがのこどもたち



2025
3月

飯能市社会福祉協議会
2025.3.1発行



開所日 原則、火～金（祝日のぞく） 時間 9：15～16：15

所在地 吾野186番地1（吾野地区行政センター内） ※ふくしの困りごと、お気軽に相談ください！

電話 070-7792-2433/ファックス 042-973-8941 メール station-agano@hannosyakyu.or.jp

“にしかわの茶の間”と“奥武蔵小4年生”が交流



社協では、毎年、奥武蔵小4年生に向けて“ふくし”について知ってもらうため、授業にお伺いしています。

今年度も授業を通して、地域に住んでいる皆さんで支え合い、お互いに尊重しあって生きていくことの大切さをこどもたちに伝えてきました。

今回は今年度の学びの締めくくりとして、行った“にしかわの茶の間”に参加されている皆さんとこどもたちとの交流の様子をご紹介します。



←この表紙が目印

●福祉教育は裏面に掲載している「赤い羽根共同募金」を財源に取り組んでいます。

福祉学習をはじめとして、支えあいにより一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に市民・社協・市が協働して取り組んでいきます。

地域共生社会の実現に向けた市内の取り組みについて、詳しくは二次元コードから“第4次はんのうふくしの森プラン”をご覧ください♪

参加者：子どもの声

- ・昔の教科書を初めて、見るのができた。
- ・マットスが楽しかった。もう1回やりたい。
- ・普段会えない、おじいちゃんおばあちゃんと交流が出来てうれしかった。
- ・文房具のプレゼント、ありがとうございます。

茶の間の皆さんの声

- ・子どものリコーダーとダンスを観て若返りました。
- ・普段使わない筋肉を動かして良かった。
- ・こどもたちと、楽しく交流出来ました。これからも、元気ないろいろなことにチャレンジしてください♪



交流会には30名が
参加しました♪



地域ふくし発見!

飯能市内の地域福祉に関する素敵な活動や取組みをふくしの森ステーションのCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。

【今回のトピック】

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者や障がい者、こどもたちに向けたさまざまな活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ。」として取り組まれています。

社会福祉法において、「地域福祉の推進を図るため」と規定され、毎年、厚生労働大臣の告示によって、全国一斉に取り組まれます。

皆さまからお預かりした募金は飯能市内における福祉活動の推進のための財源として大切に活用させていただいています。

募金の使い道について

小中学生に向けた福祉教育の取り組みに

被災地でのボランティア活動に



今年度は、市内小中学校8校の福祉教育の取り組みに活用されています。

能登半島地震で被災した、石川県、富山県に全国の都道府県共同募金会から約3億3千万円が拠出されました。

身近な地域の居場所づくりに



今年度は、ふれあいいきいきサロン17団体、地域福祉推進組織7団体の活動に活用されています。

そのほかに、見守り活動の推進やひとり親家庭の支援、フードバンク事業、広報費などに活用されています。

皆さまからご協力いただいた募金は、約50%を飯能市内での地域福祉の推進のための活動に活用させていただくほか、残りの約50%は県内の活動に活用しています。

また、募金の3%は災害時のボランティア活動のための準備金として積み立てられており、もしも飯能市で大きな災害が起きた場合は、全国から応援が届く仕組みになっています。

赤い羽根共同募金について
(飯能市社会福祉協議会ホームページ)

